



人とつながる力

教務主任 村上 陽子

新年明けましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、新しい年を迎え、学校にも子供たちの元気な声が戻ってきました。子供たちからは、新たな目標を立て、希望をもって進んでいこうという気概が感じられました。また、久しぶりの友達との再会に、安心にも似た心地よさを感じている様子も見られ、ほっこりした気持ちになりました。

話は戻りますが、12月中旬。1年生は「かるた」をしました。たくさん札をとって喜ぶ姿、思ったより取れず悔しい思いをしている姿があり、なんとも言えない雰囲気がただよいました。そこで、「かるたをしてみてもうどうだったかな」と思っていることを聴き合いました。一人の子が語りだします。「最初は楽しかったけど、途中からあまりとれなくなって、どんどん悲しくなっていたの」。周りからは、「私も（あまりとれなかった）」「えっ、そうなんだ」とつぶやきが聞こえます。「でもね、またがんばろうって思ってる。楽しかったから」。それを聞いた子供たちは「悲しくなってもまたがんばろうってなったんだね。すごいね」と称賛の声をかけたり、「僕もまたがんばりたいって思ったよ」と共感する思いを伝えたりしていました。友達の気持ちに寄り添ったり、友達のがんばろうとする気持ちに接し、自分ももっとがんばろうと思ったりと、友達の話を聴くことでつながりがまた一つ強くなったように感じました。

このように、「人とつながる力」は、八幡っ子の温かい人間関係の中でさらに育まれていくことでしょう。子供たちがより一層つながりを深め、学び合えるよう教職員一同力を合わせて支えていきたいと思えます。

給食を通して子供たちを笑顔に

給食主任 大貫 直美

2学期に行った学校給食参観では、学校栄養士から、学校給食の目標や献立ができるまでの工程等を話してもらいました。また、各学級では、配膳や食事の様子を参観していただきました。参観された保護者の方から「保育園では、あまり食べていなかったのですが、楽しそうに食べていてうれしい気持ちになりました」とメッセージをいただきました。

本校の学校栄養士は、月に一度来校し、子供たちの配膳の仕方を確認したり、栄養について指導したりしています。また、行事食について分かりやすくまとめ、子供たちが行事と食事の結び付きを学べるようにしています。

1月26日(月)～30日(金)には学校給食週間を実施します。望ましい食生活の在り方を考えると共に、給食に携わっておられる方々や食材となる生き物の命への感謝の気持ちをもつことをねらいとして、全国で実施されます。

学校給食週間では、子供たちが食に関心をもつように、毎日特別な献立が出ます。今年の献立のテーマは、「学びをぱくり！おいしい教科書」です。国語や図工等、様々な教科の学習内容にちなんだ献立です。この期間に、健康委員会では、調理員の仕事を調べたり、インタビューしたりしたことを全校に紹介しようと考えています。これを機に、ご家庭でも食についてぜひ話題にしてください。



2学期末時点でのアクションプランの達成状況については、本校ホームページにてお知らせします。学校経営を見直し、目標達成を目指して、3学期も引き続き取り組んでまいります。ご意見等がございましたら、ぜひ学校までお寄せください。